

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 213-8533  
 住 所 川崎市高津区坂戸1丁目20番1号  
 氏 名 株式会社ミットヨ 取締役社長 中川 徹 印  
 (代理人) 本社総務部長 川又 収司 印  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ミットヨ		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市高津区坂戸1丁目20番1号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	27	業務用機械器具製造業
主たる事業 の内容	精密測定器具製造業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		2,353 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	総務部 総務2課
		所在地	川崎市高津区坂戸1丁目20番1号
		電話番号	044-813-8201
		FAX番号	044-813-8210
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成23年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 4,097 t-CO <sub>2</sub> (調) 3,312	(実) 4,142 t-CO <sub>2</sub> (調) 3,351	(実) 3,980 t-CO <sub>2</sub> (調) 3,238	(実) t-CO <sub>2</sub> (調)	(実) 4,638 t-CO <sub>2</sub> (調)
削減率		(実) -1.1 % (調) -1.2	(実) 2.9 % (調) 2.2	(実) % (調)	(実) -13.2 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	生産高		単位	t-CO <sub>2</sub> /百万円	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	1.782	0.8775	0.7753		0.8836
削減率		50.8 %	56.5 %	%	50.4 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	排出量は、生産高が基準年度に約2倍に増加したため4142tと基準年度比で1.1%増加したが、生産性の向上により原単位を改善することができた。
第2年度	夏場の節電等の効果により、排出量を削減することができた。また、原単位についても改善できた。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

## 3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

## (1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該当者等)	計 画	<p>○空調設備、照明設備等の更新時に、エネルギー負荷低減及び高効率設備への切り替えを図る。</p> <p>○建物屋根、外壁、窓等に、遮熱塗装、断熱フィルム敷設等空調効果を高めるための施策を行なう。</p> <p>○外部専門家の省エネルギー診断を積極的に実施し、診断結果を環境マネジメント活動により計画的に実施していく。</p>
	第1年度	<p>空調設備については、水冷式2台を空冷のものに更新した。また、照明については、116本の蛍光灯を省エネタイプのものに更新した。</p> <p>建物及び省エネルギー診断については実施できず、2011年度に延ばした。</p>
	第2年度	<p>空調設備については、2台を省エネタイプのものに更新した。また、建物屋根の断熱塗装及びLED照明装置の設置を行った。</p>
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

屋外保安照明等は太陽光を利用した再生可能エネルギー源の利用を積極的に検討する。

イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考
屋外保安照明	規模：2KW相当 導入場所：当社敷地内	平成24年度	予定

ウ 計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	1. 廃棄物の減量化、分別化の推進。 2. 緑化の推進。植樹の他、屋上への緑化等の検討。 3. 京都議定書クレジット取得の検討。
第1年度	廃棄物の減量化については、生産高の増加率（205%）に対し廃棄物排出量を161%に抑え、リサイクル率も1ポイント向上した。 緑化の推進、及び京都議定書クレジット取得の検討は実施に至っていない。
第2年度	廃棄物の減量化については、生産高の増加（109%）に対し廃棄物排出量を99%に抑えた。 緑化の推進、及び京都議定書クレジット取得の検討は実施に至っていない。
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	3,609	t-CO <sub>2</sub>
(調)	3,601	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等单位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k<sub>l</sub> 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
株式会社ミットヨ本社	川崎市高津区坂戸1-20-1	2734	精密測定器製造業	3,609 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 以上 1,500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k <sub>l</sub> 未満	
300～400k <sub>l</sub> 未満	
200～300k <sub>l</sub> 未満	
100～200k <sub>l</sub> 未満	
100k <sub>l</sub> 未満	

(3) 事業所等单位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--